

トリフォニーホール・グレイト・ピアニスト・シリーズ 2017/18
トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》2017

ピーター・ゼルキン ピアノ・リサイタル

「問いかける音楽」
「彼がバッハやモーツァルトのような「モダン・ピアノ以前」の時代の作品を弾くときには、どこか居心地がよさそうに見える。」
(飯尾洋二)



Great Pianists Series 2017/18
Goldberg Variations 2017
Peter Serkin Piano Recital

©Regina Touhey Serkin

モーツァルト：アダージョ K.540
モーツァルト：ピアノ・ソナタ第17(16)番 変ロ長調 K.570
J.S. バッハ：ゴルトベルク変奏曲 BWV988

2017年8月1日[火] 19:00開演(18:30開場)

料金[全席指定]:S¥6,500・A¥5,500 すみだ学割あり*

5公演セット券:S¥23,600

[対象公演] 7/4 フレイレ、8/1 ゼルキン、8/29 アームストロング、11/23 ヴィルサラージェ、2018/3/17 アンデルシェフスキ

チョイス券:3公演以上購入は1回券合計金額の15%引(Sのみ)*

[対象公演] 7/4 フレイレ、8/1 ゼルキン、8/29 アームストロング、11/23 ヴィルサラージェ、2018/2/10 ムストネン、2018/3/17 アンデルシェフスキ

*はトリフォニーホールチケットセンターのみ取扱い

◎お申込み・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212

トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

※オンライン購入には、トリフォニーホール・チケットメンバーズ(無料)へのご登録が必要です。

すみだトリフォニーホール

JR&東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分/東京スカイツリータウン®より徒歩20分

との対話。



音楽的な里帰りともいべき《ゴルトベルク変奏曲》

ピーター・ゼルキンは1947年生まれ。まちがいなく大巨匠と呼んでもおかしくないベテランなのだが、なにしろ父親は歴史的な大家ルドルフ・ゼルキン。かつてわたしたちがレコード・ジャケットで目にした父ルドルフの年齢にピーターもだんだんと追いつきつつあるはずだが、いまだに息子のほうには若々しいイメージがどこかに残っている。おそらくは容貌よりも、そのみずみずしい音楽に由来するものとして。

ピーターにとって、《ゴルトベルク変奏曲》は特別なレパートリーであるはずだ。なぜなら、彼はこの曲を3回もレコーディングしている稀有なピアニストなのだから。1965年のデビュー・アルバム、1986年の2度目の録音、そして現在も容易に入手可能な1994年録音のアルバムがある。このアルバムは父ルドルフの思い出に捧げられていた。2015年の来日リサイタルでアンコールにこの曲の「アリア」が弾かれたときには、父親の有名なエピソードを思い起こさずにはいられなかった。若き日のルドルフはアンコールに《ゴルトベルク変奏曲》の「アリア」を弾くと、そのまま変奏曲まで弾き続け、結局最後まで全曲弾いてしまい、会場には知人と共演者し

が残ってなかったという、ウソのような(たぶん)ホントの話がある。だから、もしやピーターもアンコールで全曲弾いてくれるのかと思ったりもしたが、もちろんそんなことがあるはずがない。しかし、時を経ずして彼の《ゴルトベルク変奏曲》全曲を聴く機会が到来したのだ。

ピーター・ゼルキンは楽器と一体となって豊かな響きを聴かせるといったタイプのピアニストではない。かつてはフォルテピアノで録音してみたり、最近では独自の調律を探索してみたり。こんな言い方には語弊があるかもしれないが、現代のピアノのあり方にずっと満たされていないかのように見える。

だから、だろうか。彼がバッハやモーツァルトのような「モダン・ピアノ以前」の時代の作品を弾くときには、どこか居心地がよさそうに見える。とりわけ《ゴルトベルク変奏曲》は、音楽的な里帰りともいべきものだろう。演奏家と聴衆が一体となった、幸福なひとときが訪れることを願う。

飯尾洋一 (音楽ジャーナリスト)



©Regina Toubey Serkin

ピーター・ゼルキン [ピアノ]

Peter Serkin, piano

アドルフ・ブッシュを祖父、ルドルフ・ゼルキンを父に持つ。ホルショフスキー、シュナーベルらに師事。小澤、ブーレーズ、パレンボイム、アパド、ラトル、レヴァインらの指揮で一流オーケストラと共演。室内楽ではA.シュナイダー、P.フランク、ヨーヨー・マ、ガルネリ弦楽四重奏団、みずからも創立メンバーであるグループ「タッシ」と共に活動。20・21世紀の作曲家を熱心に支持し、武満徹、リーパーソン、ナッセンらが彼のために作品を書いている。

CD情報

J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲 他
ピーター・ゼルキン (ピアノ)
■ 録音:1994年
■ BVCC-37661
株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ



チケットのご案内

■ 料金 [全席指定]: S ¥6,500・A ¥5,500 すみだ学割あり*
5公演セット券: S ¥23,600

[対象公演] 7/4フレイレ、8/1ゼルキン、8/29アームストロング、11/23ヴィルサラージェ、2018/3/17アンデルシェフスキ

チョイス券:3公演以上購入は1回券合計金額の15%引(Sのみ)*

[対象公演] 7/4フレイレ、8/1ゼルキン、8/29アームストロング、11/23ヴィルサラージェ、2018/2/10ムストネン、2018/3/17アンデルシェフスキ

*はトリフォニーホールチケットセンターのみ取扱い

■ ご予約・お問合せ

トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
トリフォニーホールチケットオンライン www.triphony.com

*オンライン購入にはトリフォニーホール・チケットメンバーズ(無料)へのご登録が必要です

■ 前売り(1回券のみ)

e+(イープラス)	eplus.jp/
チケットぴあ[Pコード:323-765]	0570-02-9999 t.pia.jp/
ローソンチケット[Lコード:35025]	0570-084-003 l-tike.com
東京文化会館チケットサービス	03-5685-0650

●トリフォニーホール託児サービスのご案内 お申込み・お問合せ 0120-500-315[平日10:00—17:00]
小学館集英社プロダクション総合保育サービスHAS(ハズ) ※ムストネンは除く

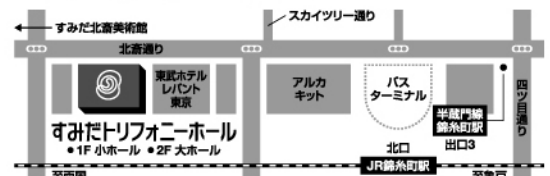
[@TriphonyHall](https://twitter.com/TriphonyHall) facebook.com/SumidaTriphonyHall

- 7月4日(火) 19:00 ネルソン・フレイレ
シューマン:幻想曲 作品17
ショパン:ピアノ・ソナタ第3番 ほか
- 8月29日(火) 19:00 キット・アームストロング
バード:ヒュー・アシュトンのグラウンド
J.S.バッハ:ゴルトベルク変奏曲 ほか
- 11月23日(木・祝) 15:00 エリソ・ヴィルサラージェ&新日本フィル
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第2番
ショパン:ピアノ協奏曲第1番 ほか
- 2018年2月10日(土) 14:00 オリム・ムストネン
プロコフィエフ:ピアノ・ソナタ第8番《戦争ソナタ》
ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第23番《熱情》ほか
- 2018年3月17日(土) 18:00 ビョートル・アンデルシェフスキ
バッハ、モーツァルト、ショパンの作品を予定

主催・企画:すみだトリフォニーホール

招聘制作:KAJIMOTO

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。



JR & 東京メトロ「錦糸町駅」より徒歩5分
東京スカイツリータウン®より徒歩20分

すみだトリフォニーホール